

2020年10月25日 主日礼拝

司 会
祈 禱
奏 楽

賛 美 讃美歌312番「いつしみ深き」
(山を見ても感謝) (あなたは愛されるため生まれた)

使徒信条

聖 書 ①② ガラテヤ人への手紙6章11～18節 (P300)
③ ヨハネによる福音書12章1～9節 (P160)

音 楽 聖歌隊&オーケストラ(V)

メッセージ ①② 「キリストのしるし」 小林詩音副牧師
③ 「恩寵のウィルス」 大川従道主任牧師
—これはよいことの始まり—

賛 美 「主の足もとに」 (献金)
頌 栄 「Holy,Holy,Holy. And He shall reign forever and ever,
King of Kings, and Lord of Lords」 (アーメン)

祝 禱

「よくよくあなたがたに言っておく。死んだ人たちが、神の子の声を聞く時が来る。今すでにきている。そして聞く人は生きるであろう。」 (ヨハネ五の二十五)

【大和ニュース】

☆本日から『ヤンチャ(中高生礼拝)』は再開！午後2時半。泉チャペルにて。

☆日曜学校は開かれています。送迎は必ず保護者がして下さい。森チャペルにて。

7時と9時と11時。詳しくは、大野師か倉知スタッフまで。

☆カレブ会はZOOMで、夜9時から。*責任役員会は、12時半からシャローム館にて。

* 祈禱会を大切に！ ①水曜夜 ②木曜朝:説教は川村哲夫副牧師(川村先生は今月末で引退されます。最後の聖務です) ③金曜夜(8:50)原田伝道師。

祈禱会は予約はいりません。3密をさけて準備されています。マスク着用。

☆尾崎静鳳氏・洋子氏の「社中展」は、28日から11月1日まで。みなとみらいギャラリーにて。

* 土曜日:10時からCBSプラス(zoom)、12時会堂掃除。

石の枕

Keep Portland Weird —— これはポートランドのキャッチフレーズ。

「ずっと変わり者でいよう、ポートランド」。米国オレゴン州のこの街では、多くの市民がこれをモットーとしてTシャツに印刷し、車体に貼りつけ、建物の壁に掲げる。住民自治、低炭素型社会、表現の自由、“Do It Yourself”と多様性の文化、活発なサブカルチャーなど、独自の気風で知られる。意見は分かれるにしても、こうした合い言葉が飛び交う街は、きっと呼吸もしやすいだろう。(朝日新聞・「折々のことば」より。鷲田清一氏)

人口の99%が未信者(未来信ずる者)の日本では、1%のクリスチャンは「変わり者」と思われても甘んじて受けとめられる。私の少年時代は、日曜日に教会に行っているだけで「アーメン・ソーメン ——」と揶揄されたものである。今の日本は、基本的には世界一平和な国と言ってもよいだろう。

若い頃、サンフランシスコ教会で2年間牧会したが、ポートランドの社会生活のことは、はじめて知った。「きっと呼吸もしやすいだろう！」は、教会にも言える。「呼吸のしやすい教会」。主の權威を認めつつも、他者の賜物や存在を認め、どんな変わり者でも受け容れて下さる大いなる主を信頼して前進する。よく考えてみたら、自分のような者を100%の愛で受けとめて下さっている主が、私たちの主なる神様である。“うれしくて、ありがたくって、感謝いっぱい”人生。さあ、胸をはって、ゆっくり呼吸をいたしましょう!!

第1コリント12章には、9つの賜物が書かれているが、私は、毎日これらを口にしてお祈りしている。あなたも、ひとつやふたつは、いただいているのですよ。他者のそれを認め、自分のそれを確認し、「多様性における統一」のすばらしさを味わい、ハレルヤ!と叫びましょう。

教会に来ないと、ご臨在の豊かさは分からない。エゼキエル書48章35節を開いて下さい。この町の名は「主はそこにおられます」「主はここにおられる」と呼ばれる。The Lord is There. 又は「The Lord is Here!」という町の名!!

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう!

Aコース: I テモテ5章~テトス1章 Bコース: エレミヤ14~30章